

「三次元構造を見据えたゴム配合技術」

主催：日本ゴム協会研究部会 配合技術研究分科会
 協賛：日本化学会，高分子学会，自動車技術会，石油学会，繊維学会，日本金型工業会，日本機械学会，
 (依頼中) 日本合成樹脂技術協会，日本材料学会 日本接着学会，日本複合材料学会，プラスチック成形加工学会，
 マテリアルライフ学会，日本トライボロジー学会，日本レオロジー学会

日時：平成23年3月8日(火) 午前9時30分～午後4時45分
 場所：東京電業会館 地下会議室 東京都港区元赤坂1-7-8 TEL 03 (3403) 5181代
 参加費：日本ゴム協会会員 協賛団体会員 23,100円
 (税込) ※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも，ご所属の会社が法人としてゴム協会員(賛助会員)の場合は
 2名様まで会員扱いの受講料で受付けます)
 日本ゴム協会学生会員 10,500円 会員外 31,500円
 申込方法：申込み欄にご記入の上，FAX又はEメールにてお申込み下さい(定員100名)
 送金方法：現金書留又は銀行振込(三井住友銀行日比谷支店 普通No.7100847 社団法人日本ゴム協会)．振り込み手数料
 は受講者側でご負担下さい．領収証が必要な方は申込書欄外にその旨お書き添え下さい．一度ご入金された受
 講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承下さい．開催日が近づきましたら，開催に関するご案内を発送
 いたします．
 申込先：社団法人 日本ゴム協会 第171回ゴム技術シンポジウム係
 (〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階
 FAX 03 (3401) 4143 TEL 03 (3401) 2957 E-mail nakagawa@srij.or.jp)

	演 題	講 師・座 長
9:30~9:40	開会のあいさつ	配合技術研究分科会主査 山田 均 【座長】 (株)ブリヂストン 三縞 久美
9:40~11:00	ゴムの不均質構造 一分子鎖やフィラーはゴム材料中でどのようになっているかー (概要) ゴム架橋物や充てん剤複合ゴム架橋物が実際に大量に使用されているが，その高次構造は十分に理 解されていない．ここでは，高分子ナノテクノロジーの面から，どこまで解明され，どこまで制御 可能か述べる．	東北大学 教授 西 敏夫氏 【座長】 元・横浜ゴム(株) 石川 泰弘 (株)日産アーク 加藤 淳氏
11:00~12:00	加硫・分散の不均質構造 (概要) ゴム本来のマクロな不均質構造やフィラー凝集・分散構造について報告する．	【座長】 川口化学工業(株) 大貫 毅 ダイキン工業(株) 入江 貞成氏
13:00~14:00	フッ素ゴムにおける分子骨格最適化技術 (概要) フッ素ゴムの基本的な設計と弊社分子骨格最適化技術について紹介する．	【座長】 横浜ゴム(株) 鹿久保隆志 住友化学(株) 佐々 龍生氏
14:00~15:00	TPOの構造と各種特性について (概要) TPOの主原料であるポリプロピレンやEPゴムの構造がTPO組成物特性に与える影響や，組成物の 高次構造が特性に与える影響について述べる．	【座長】 アキバリサーチ 秋葉 光雄 東京工業大学 教授 高田十志和氏
15:10~16:10	高速相転移・高速応答ヒドロゲル 一ロタキサン架橋の効果 (概要) ロタキサン型架橋構造をもつヒドロゲルを，汎用ビニルモノマーのラジカル重合系にある種の架橋剤 を導入することで合成し，その特異な物性について評価した結果について報告する．	【司会】 キャボットジャパン(株) 駒井 泰美 配合技術研究分科会副主査 駒井 泰美
16:15~16:45	講師による質疑応答	
16:45	閉会のあいさつ	

第171回シンポジウム(配合)

受講者名	社名			
部署	連絡先住所	〒	—	—
TEL	FAX	E: mail		
会員の別(○をお付けください)	正会員	賛助(法人)会員	学生会員	会員外
	配合分科会会員	協賛(団体名)		
支払予定日	支払方法	請求書	要	不要
ご担当者名	所属			